

福祉からはじまる
地域のつながり



稲沢市社会福祉協議会だより

No.59

2020

4

I-N A

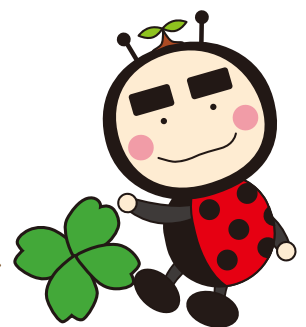


「ガバツ」と開いたカバの口に大はしゃぎ！（各児童館・児童センターにて実施している人形劇会場にて）

CONTENTS

- 02 地域づくりナビ
（明治地区 あいさつ運動の取り組み紹介）
- 03 稲沢市社会福祉大会、
8050問題について考える
- 04 赤い羽根共同募金への協力のお礼・
実績報告
- 05 市民活動コーナー
- 07 ボランティアコーナー

- 09 [連載] わかるとい～な
障がい者基幹
相談支援センターだより
- [連載] 高齢者役立ちかわら版
- 10 ボランティアチルドレン支援事業、
音楽療法支援事業
- 11 障がい福祉施設
サンタクロース事業、
置き傘贈呈、社協会員加入のお礼



マスコットキャラクター
「福ちゃん」

〔WEBサイト〕 <http://inazawa-shakyo.or.jp>

稲沢市社会福祉協議会

検索



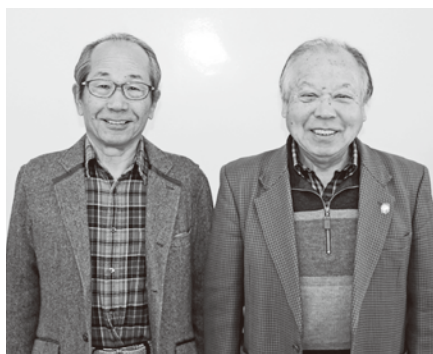
地域づくりナビ 発信!

【生活支援体制整備事業 明治市民センター地区の取り組み】

あいさつで 人と人をつなげよう

誰もが住みやすく、また支え合えることができる地域づくりを進めている中、明治地区では「あいさつ」を中心とした取り組みがスタートしています。

なぜ、「あいさつ」を取り上げることになったのでしょうか。話し合ってきたメンバーに振り返ってもらいました。



左からメンバーの大橋哲夫さん、佐橋勝利さん

話し合いの中で、昔と比べて隣近所の関わりが薄れてきたことや、核家族化・高齢化が進んできたことによって色々な問題が発生してきたと課題が挙げられました。そのため、これからは関わりを強くしていくことが大切だ、という話になりました。

そこで人と人をつなげる力のある「あいさつ」の輪を広げて、お互いに支え合える地区にしていきたいと考えました。

地域の方々が自然に行っている関わり合いが、地域住民同士のつながりを深めることにつながっていくんですね。



地域ぐるみのあいさつが浸透すると、お互いのつながりが深まり連帯感が出てきます。このことが日頃のちょっとした助け合いや災害時の安否確認に結びついたり、また空き巣などの犯罪抑止に期待が持てます。

これからは、改めて「あいさつ」を意識して行い、いざという時に助け合える地域になっていけるようにしていきたいと思っています。

明治地区では、あいさつの取り組みを今後も進めていく計画です。
地域づくりに関するご相談は、稲沢市社会福祉協議会まで。

稲沢市社会福祉大会を開催しました

去る2月22日、稲沢市社会福祉協議会、稲沢市共同募金委員会の共催により、名古屋文理大学文化フォーラムの中ホールにて「令和元年度稲沢市社会福祉大会」を開催しました。

大会では、日頃から稲沢市の社会福祉の発展に功績のあった141名(個人・団体)及び赤い羽根共同募金に多額の金員を寄付された91名(個人・団体・法人)に対しまして、表彰状及び感謝状を贈呈しました。

また、当日は近年、ひきこもりの長期化・高齢化が社会問題となっている「8050問題」にスポットを当て、講師に愛知教育大学大学院 川北 稔 准教授をお招きし、「8050問題の深層 ～限界家族をどう救うか～」をテーマにご講演をいただきました。

・稲沢市社会福祉協議会長表彰状	・・・75件
・稲沢市社会福祉協議会長感謝状	・・・66件
・稲沢市共同募金委員会感謝状	・・・77件
・中央共同募金会感謝状(伝達)	・・・2件
・愛知県共同募金会感謝状(伝達)	・・・12件



8050問題について考える

この「8050(はちまるごーまる)」とは、「80代の親と、ひきこもる50代の子ども」を表しています。

従来「ひきこもり」と言うと、10代・20代の若者の問題として捉えられがちでしたが、ひきこもりの問題が顕在化した1980年・90年代から30年ほど経つ現在、当時のひきこもり世代が社会に出る機会を逃したまま、今なおひきこもり続け、50代になろうとしているという例は少なくありません。

2019年3月、内閣府が発表した調査結果によりますと、自宅に半年以上閉じこもっている「ひきこもり」の40歳から64歳までの人数が、全国で推計61万3千人と発表されています。この数字は15歳から39歳までの推計人数の54万1千人を上回っていることから、ひきこもりの高齢化、長期化が鮮明になっていると言えます。

ひきこもってしまった子の生活を支えているのは親となるわけですが、最近では親の退職後、年金と貯金を頼りに食いつないできた親子がその後、経済的に困窮、社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなる深刻なケースが目立ち始めています。

現在、本会が稲沢市から委託を受けて運営しています福祉総合相談窓口においても、同じような世帯のケース支援に関わることは珍しくありません。

『ひきこもりがちな人とその家族の問題』を、その当事者だけの問題として捉えるのではなく、地域全体で考える問題の一つとして捉えるきっかけにしていきたい。また、当事者世帯の孤立を防ぐために、私たちに出来ることは何なのかを、多くの皆様と共に考え、今後の新たな支援のカタチへと繋げていければと考えています。



赤い羽根共同募金にご協力 ありがとうございました



毎年、赤い羽根共同募金運動にご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

この募金運動には市民や企業の皆様、また、地区の区長様や民生委員・児童委員様をはじめとする多数のかたのご協力のおかげで、多くの方々に募金へのご協力をいただくことが出来ました。お忙しい中ご協力をいただきましたことに重ねてお礼申し上げます。

今後も、この地域を良くするため、また、困っている人たちを支えるために、赤い羽根共同募金活動へのご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

令和元年度 募金実績額

20,328,177円

(2月29日現在)

戸別募金(300行政区)	13,118,425円
法人募金(594社)	3,482,910円
街頭募金(23か所)	377,394円
学校募金(34校)	688,377円
職域募金(8件)	758,595円
イベント募金(福祉まつり)	770,646円
窓口募金(49件)	1,037,462円
店頭募金(37か所)	58,833円
自動販売機募金(2か所)	35,535円



※ご寄付をいただきました法人名・団体名などについては、本会WEBサイトにて掲載しております。

社会福祉協議会WEBサイト

TOPページ → 赤い羽根共同募金 → 令和元年度ご寄付者紹介

テーマ型募金をご存知ですか？

赤い羽根共同募金運動の新たな取り組みとして、従来の運動期間とは異なる1月から3月までの期間に、地域社会の解決したい課題や使い道を明確にし、その課題解決を図るために必要な活動資金を募る「テーマ型募金」を実施しています。現在、全国各地でテーマ型募金が取り組まれ、稲沢市でも「被災地のために活動するボランティアを応援してください!」をテーマに今年から新たに始めました。

募金募集にあたっては、本会窓口や社会福祉大会などに設置した募金箱の他に、矢合地区で初めて開催された「矢合の杜 梅まつり(2/16)」のご来場者やご関係者の皆様にも多数ご協力いただきました。

矢合の杜 梅まつりの当日はあいにくの雨模様でしたが、会場では温かい豚汁などが振る舞われ、地元のかた以外にも、シークレットゲストとしてラジオDJのジェームス・ヘイブンスさんもお越しになり、募金にご協力いただきました。

※テーマ型募金 実績額 **176,041円** (3月2日現在)



矢合の杜 梅まつりの様子

稲沢市市民活動支援センター・ボランティアセンター

稲沢市国府宮三丁目1番1-101号 総合文化センター

☎ 0587-33-6400 FAX 0587-22-6110

WEBサイト <https://www.inasvsc.jp> Eメール vol-info@inazawa-shakyo.or.jp

《公式facebook、twitterも見てね!》

■facebook <https://www.facebook.com/inazawa.svsc>

■twitter <https://twitter.com/inazawashien>



市民活動コーナー

登録団体紹介 「子ども応援室 ここ・らぼ」

「ここ・らぼ」は、平成27年4月に不登校児や発達障がい児などを第三者の大人として応援したいという思いから、読み聞かせボランティアの仲間3人で結成されました。

代表の古川さんからは、「子どもたちが、学校の先生(教育)や、親(しつけ)でなく、第三者の大人と関わることで気持ちの変化やコミュニケーション力の向上、自己肯定感を持てるようになってほしい。」という思いをお話いただきました。

現在は、市内の小中学校などで活動する「ホームフレンド」「心の教室相談員」の報告会、その他に、子どもと関わる支援者の学習会を定期的に開催されています。

「今後は、支援者の育成とサポートを中心に、ママ向けやおばあちゃん向けの子育て講座を企画し、家庭教育の大切さを発信していきたいです。」と古川さん。

「ここ・らぼ」の活動に関心のあるかたは、是非お問い合わせください。

〈問合先〉代表 古川泰子 ☎080-5105-9184



💡NPO豆知識

NPOの活動資金とは？

NPOが継続的に活動していくためには一定の資金が必要になってきます。NPOの主たる財源としては、①会費、②寄付金、③助成金・補助金、④事業収入、⑤受託収入などが挙げられます。財源には、使い道が比較的自由なものや限定されたものなど性質が多様となっています。団体が活動していくために、どのくらいの資金が必要か、いつまでに準備が必要かなどを検討していくことが大切です。

団体の財源の一つである、助成金・補助金については、センターWEBサイト「助成金情報」ページからご確認いただけます。



市民活動コーナー

時 期間・日時 **人** 定員 **持** 持ち物・服装 **場** 場所・会場 **内** 内容
申 申込み・応募 **対** 対象 **¥** 費用・受講料 **他** その他 **問合** 問合先
 ※**対**どなたでも、**人**特になし、**¥**無料の場合は省略。

■登録団体情報【イベント情報】

団体名	内容	問合・申込先
歴史を見る会	◎上映会 時 4月20日(月)日本三大悪女「日野富子」 5月18日(月)信長後継者「三法師」「有楽斉」 6月15日(月)日本史上最強の猛女「北条政子」 各回13時30分～15時30分 場 市民活動支援センター	代表 松田文夫 ☎ 0587-21-0021

センターからのご案内

NEW 相談会 & センター開放の開催

「新たにボランティア団体を立ち上げたい。」「登録するとどんなメリットがあるんだろう。」など、この相談会でお聞きます。また、当日は登録団体が予約して利用しているスペースを、予約なしで利用いただけます。今後の活動拠点としての施設見学や打合せ・作業などにご利用ください。※飲食不可。大きな音が伴う活動などはできません。利用者が多い場合は、一部制限する場合があります。

時 5月9日(土) 9時～16時30分(相談は9時～12時)
 6月1日(月) 9時～16時30分(相談は9時～12時)
 ※今後の開催日時などの詳細は、センターWEBサイトで発表します。

場 市民活動支援センター



支援内容(例)



[チラシの掲示]

団体のPRやイベントのチラシなどを支所・市民センターに掲示することができます。



[ボランティアルーム]

センター内の貸スペースの他、老人福祉センターいちょう館(祖父江町体育館)内のボランティアルームも利用できます。(無料)

おはこ いち やわせ十八番市実行委員会「矢合観音節分祭」

2月3日(月)、今回で4回目。境内は多くの人で賑わい、ご祈祷された豆が「福は一内! 福は一内!」の掛け声に合わせて撒かれました。子ども連れや体の不自由な方への配慮もあり、ほぼ全てのかたが豆を持ち帰ることができ、多くの笑顔がありました。





ボランティアコーナー

■登録団体情報【会員募集】

団体名	内容	問合・申込先
ピカブー Peeka-bo(^o^)o	読み聞かせボランティア募集！子どもとのふれあいが好きなかた歓迎です。 【時】第1土曜日11時30分～11時45分 【場】祖父江の森図書館おはなし しつ 【対】初心者可 【申】メール又は当日直接祖父江の森図書館会場へ	peekabo0u0o@gmail.com
ガラクタ会	高齢者施設などでのボランティア活動。初心者のかたでも歓迎です。 【時】第1・3金曜日 10時～12時 【場】はなみずき館 【内】南京玉すだれ、皿 まわし、体操、銭太鼓など 【対】初心者可	加藤 ☎090-5036-6041

ボランティア保険加入のご案内

ボランティア活動保険の加入手続きはお済みですか？

令和元年度加入分のボランティア活動保険は、令和2年3月31日をもって補償期間が終了しました。ボランティア活動保険に加入することにより安心してボランティア活動することが出来ます。早めの加入手続きをおすすめします。

個人としての活動を1年間補償

ボランティア活動保険

ボランティア活動中、ボランティア自身がケガをした場合の「傷害補償」と、他人の身体または財物に損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合の「賠償責任補償」がセットになった保険です。

補償期間：加入手続き完了日の翌日から

令和3年3月31日まで

〈保険料〉基本プラン 1名あたり年間250円～

天災プラン 1名あたり年間400円～

団体が主催する行事を補償

ボランティア行事用保険

福祉活動やボランティア活動を目的とする団体などが主催する行事中に、参加者がケガをした場合の「傷害補償」と、主催の責任により発生した事故などにより主催者が法律上の賠償責任を負った場合の「賠償責任補償」がセットになった保険です。
〈保険料〉日帰行事、当日参加型行事（新設）

1名1日あたり30円～

宿泊行事 1名あたり251円～

※日帰行事、当日参加型行事については、1行事の参加者人数が20名以上から対象となります。

受付窓口 ボランティアセンター（総合文化センター内）、本所（社会福祉会館内）、西部支所（平和らくらくプラザ内）

手続き 窓口にある「加入申込書」に必要事項を記入・捺印し提出した後、指定口座に保険料を振込んでください。

ボランティア活動前に確認しておきたい

事故防止・軽減のための

10大ポイント その8

過信禁物。今の自分に出来ることをあらかじめ把握しましょう。



☆「以前はこのくらい出来たから今でも大丈夫」は危険です。今の自分に出来ることをあらかじめ分析し、他のボランティアと協力して活動しましょう。

☆「ここまでやっても大丈夫」といった自己判断、過信は禁物です。周囲のかたの判断を仰ぐことも重要です。



ボランティアコーナー

第3回

ボランティア ストーリー

市内で活躍するボランティアにスポットを当て、ボランティア活動への思いを語ってもらいます。

今回は平和町前浪地区で高齢者ふれあいサロン活動などを行っている
さかいとしこ
酒井敏子さんにお話しをお聞きしました。

ボランティア活動との出会いは

今から約40年前、生死を分ける大病になり、長期入院を経験し、命の大切さを感じました。

入院時、同室となった祖父江の「はなのき寮」の入所者のかたとの出会いが、私のボランティア活動の始まりでした。当時、ボランティア活動は、世間一般ではあまり理解されないことでした。「はなのき寮」の掃除から始め、周囲に声掛けし「ボランティアレインボー」を立ち上げました。主婦が中心となり清掃活動や障がい者、高齢者などを支援することを活動内容とし、楽しく参加してもらうことで長く続けることが出来ました。現在は夫（律治さん）と「ボランティア律&敏」としてコミックマジックやバルーンアートによる施設慰問などを行っています。

老化、認知症予防になります。また、ひと様に喜んでもらえて一石二鳥です。これからも続けて行きたいと思っています。



ボランティア活動に興味・関心のあるかたにメッセージを

自分が得意とすること、好きなことから始めて行動してみてください。きっと新しい発見、出会いがあると思います。少しでも社会や人のために役立ったと思うと嬉しいものです。

あなたにとってボランティア活動とは

ボランティア活動を楽しめることにより、自分が少しずつ成長してこれたと思います。

今では他人のためでなく、自分自身のためになると思うことが多くなりました。

例えば活動することにより体や頭を使うので、



報告

生活支援ボランティア養成講座

2月15日（土）、ゴミ出しなど高齢者のかたが生活する上での『ちょっとした困りごと』を支援するボランティアの養成を目的とした講座をボランティアセンターで開催。生活支援ボランティアの必要性についての講演、実際に活動している有償ボランティアグループの事例報告など盛りたくさんの内容でした。

多数の参加者から「今後活動してみたい」という声をいただき、センターでは活動につながるよう支援していきます。



【連載】

わかると しーたよ

障がい者基幹
相談支援センター
だより

第
28
回

障がいのあるかたの日中活動と 支援について(2)



障がいのあるかたが利用する「日中一時支援」は、
どんなサービスですか？



「日中一時支援」は、家族が就労や休息のため一時的に、障がいのあるかたの世話が出来ない時に、昼間の時間帯で過ごせる場を確保し、見守りや日常生活上の必要な支援を提供するサービスです。このサービスの利用によって、家族の負担軽減を図っています。



「日中一時支援」を行っている施設はどこにあるの？



市内には、8か所あります(令和2年1月現在)。各施設について、市役所福祉課や、各相談支援事業所などの窓口にある「福祉サービスあらかると」に情報の掲載があります。利用するには、市役所福祉課の窓口で、利用申請など所定の手続きが必要です。



次回は、障がいのあるかたの日中活動と支援について(3)お伝えします。

※本会ではノーマライゼーションの理念を推進する観点から広報紙面などにおける「障害」の表記を、「障がい」と一部ひらがな表記に努めています。

※ノーマライゼーションの理念とは、デンマークにおける知的障がい者の親の運動から広がった考え方で、障がいのある人もない人も、みんなが安心して生活をおくることの出来る地域社会を築くことをめざすものです。

【連載】

高齢者役立ち かわら版

第26回

「適切な介護保険サービスの利用の 第一歩は「相談」」

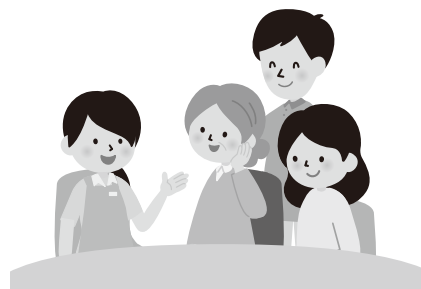


介護の相談といっても、どんな時に相談していいかわからないことはありませんか？今回は相談例について紹介します

< 地域包括支援センターに寄せられる相談例 >

- ・最近、父の物忘れがひどくなり心配。
- ・一日中、テレビばかり観ていて、外出することが少なくなった。
- ・母が亡くなり、一人暮らしになった父のことが心配。
- ・家の中でよく転ぶようになったがどうしたらいいの？

など



地域包括支援センターでは、高齢者の暮らしや介護についてのご相談を承ります。
困ったことや不安なことがあれば、お住まいの地域包括支援センターや市の高齢介護課へご相談ください。

次回は「相談後の対応等」についてお伝えします。

information

社協の 情報広場



【申込先・問合せ先】

社会福祉協議会本所

☎0587-23-6713(平日8時30分～17時15分)

時 期間・日時	人 定員	持 持ち物・服装
場 場所・会場	内 内容	申 申込み・応募
対 対象	¥ 費用・受講料	他 その他

※**対**どなたでも、**人**特になし、**¥**無料の場合は省略。

ボランティアチルドレン支援事業

学校や学年の異なる子どもたちが様々な人とのふれあいやボランティア活動などを通して、他者との違いを学び、共に生きる力を育てる活動を行っています。

- 時** 月1回(主に日曜日) 午前10時～午後3時 ※初回は5月17日(日)
場 主に社会福祉会館
対 市内在住・在学の小学4年生～中学3年生
人 10名(定員を超えた場合は抽選)
内 耳の聞こえないかたとのカレー作り、地域のかたを招いてのぜんざい会など
申 4月28日(火)まで本所で電話にて受付



◆ボランティアチルドレンに関わってくれる学生サポーター募集中◆

子どもたちの活動をサポートする学生サポーター(高校生以上)を募集しています。
4月28日(火)までに、下記メールアドレス宛に①～⑤の情報を入力し送信してください。

①氏名(ふりがな) ②学校名(学部) ③学年 ④住所 ⑤電話番号
E-mail children@inazawa-shakyo.or.jp

音楽療法支援事業

音楽や音、リズムを使って、子どもたち一人ひとりの持っている力を最大限に発揮させ、発達を促すことを目的として実施します。楽しみながら気持ちや身体を育みましょう。

- 時** 毎月第3土曜日(5月～翌年3月の全11回)
①10:00～10:30 ②10:40～11:10 ③11:20～11:50 ④12:30～13:00
⑤13:10～13:40 ⑥13:50～14:20 ⑦14:30～15:00 ⑧15:10～15:40
場 ひまわり園(稲沢市矢合町山屋敷3329番地)
対 市内在住の発達に遅れがある3歳から小学生以下の子どもとその親
人 親子8組(定員を超えた場合は抽選)
申 4月15日(水)まで本所で電話またはメールにて受付

E-mail fukushi@inazawa-shakyo.or.jp

※初めての参加者を優先します。 ※定員を超えた場合は抽選とし、結果は郵送にて通知します。

※調整の結果、実施時間をご希望に添えない場合があります。

※当選者のかたにはフェイスシートの作成をお願いします。

他 ◆メール入力例◆

(※電話の場合は①から⑥の必要項目をお伝えください。)

メール件名/「音楽療法申込み」

メール本文/①子どもの氏名・ふりがな・性別・年齢、②保護者氏名・ふりがな、③郵便番号、④住所、
⑤電話番号(日中連絡がとれるもの)、⑥希望の実施時間番号(第1希望・第2希望)



報告

障がい福祉施設サンタクロース事業

～季節を感じ、生活の活力に～

昨年度から、社会福祉協議会では障がいのあるかたの生きがいづくりや社会参加の促進を目的に、市内の障がい福祉施設が実施するクリスマス会や餅つきなど、年末年始の行事に対して助成金を交付しています。

【助成金実績】24事業所 957,749円

この助成金は、市民の皆様からご協力いただきました赤い羽根共同募金を活用して実施しました。



施設の声

- ・近所のかたにも参加していただき、地域交流の機会となりました。
- ・利用者も喜び、思い出に残るクリスマス会になりました。

置き傘設置事業

～小学校に入学する新1年生に「黄色い置き傘」を贈呈～

市民の皆様からご協力いただきました赤い羽根共同募金を活用して、「黄色い置き傘1,226本」を市内小学校の新入生向けに配付しました。雨の日も、子どもたちが安全に登下校できるように願っています。



社協会員加入のお礼とご報告

令和元年度 社協会員会費実績

14,655,400円

(2月29日現在)



令和元年度におきましても、多くの皆様に社協会員加入にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

また、大変お忙しい中を各行政区の区長様をはじめ、会員募集のお取りまとめにご尽力いただきました関係者の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

ご協力いただきました会費は、令和2年度の各地区におけるまちづくり推進協議会の活動費、そして社会福祉協議会が取り組みますボランティアセンター運営事業などの地域福祉活動費に活用させていただきます。



ご寄付ありがとうございました。

令和元年11月22日から令和2年2月29日までのご寄付を掲載しています。(順不同・敬称略)

【社会福祉基金】

◎愛知西農業協同組合	21,000円
◎大島利子T&K	10,000円
◎千代田仏教会	10,000円
◎稲沢商工会議所女性会	10,000円
◎匿名(2件)	80,000円

【物品】

◎岩本製菓	タマゴボーロ 11箱 ※市内施設などへ贈呈しています。
◎21世紀会	タオルなど 11箱 ※市内施設などへ贈呈しています。
◎アピタ稲沢店	日用雑貨・衣料など



い〜なクイズ

クイズ正解者の中から抽選で **10名様に**
「図書カード」1,000円分をプレゼント!

問題

今年4月、小学校に入学する新1年生に贈呈した置き傘は全部で□本?

□に入る数字をお答えください。※ヒントは紙面のなかにあるよ!

応募方法

郵便はがきに、①クイズの答え②氏名(ふりがな)③性別④年齢⑤職業⑥郵便番号⑦住所⑧電話番号⑨今号の紙面の中から目に留まった、気になった記事を1つ⑩ご意見・ご感想などをご記入のうえ、本会までお送りください。

応募宛先

〒492-8218 稲沢市西町3-10-24
稲沢市社会福祉協議会クイズ係

応募締切

令和2年4月21日(火)必着(応募は1人1枚まで)

応募資格

市内在住のかた

当選発表

厳正なる抽選の上、当選は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

【個人情報の取扱について】

- ご応募いただく際に、ご記入いただきました個人情報は、当選者への賞品発送及び本会運営のために使用させていただきます。
- 個人情報は、ご本人様の同意無しに第三者に開示提供することはありません。
- 個人情報は、当会が責任をもって管理いたします。

前回のクイズの答え

地縁 多数のご応募ありがとうございました。

広告

失敗しない!!!
家づくりの始め方
無料セミナー開催中(要予約)

住宅会社選びの専門家
おうちの相談窓口
お問合せ
0120-21-1357



全国43店舗
展開中!!
稲沢市朝府町2-33
営/10:00~17:30 休/水曜日
http://ouchi-madoguchi.com

運営会社 / 株式会社繁栄 不動産部

広告

日本航空高等学校 尾張学習支援センター

通信単位制普通科 原則留年ナシ!バイト留学もOK!
前籍校での在籍期間や取得単位を最大限に活かします!

学校・教室見学入学相談受付中☆転・編入生随時受付

☎0586-68-7068/090-8088-4858
high12summer_waves13@ybb.ne.jp
〒492-8389愛知県稲沢市横野町764-1

併設 学研横野法閑寺教室



広告

ひとりで考えず、まずはお気軽に相談ください。

Quality of Life
QOL クオリ訪問看護
リハビリステーション

稲沢市北島5丁目15番地

0587-50-0095

求人

日勤のみ!残業なし!

スケジュールの融通が効く訪問の働き方!

週2日、1日3時間から勤務OK!

訪問看護事業所でのパート募集

- 正看護師・作業療法士 1,400円~
- 精神保健福祉士 1,300円~

応募 0587-50-0095

先ずはお気軽にお電話ください。(担当/八木・内田)